第26回名護市意見発表会

世の中には、「人は見かけによらず」という言葉があるように、人の内面を重視する風潮があります。実際、「人は外見だけじゃない、中身が一番重要」とこれまでは思っていました。

私は、第一印象で「真面目そう」「おとなしそう」と思われることが多く、「話してみると全然違う」と言われます。でもそれは内面のごく一部であり、実際はおしゃべりで、韓国が大好きで、割と行動的な一面もあります。しかし、人の第一印象を覆すのは簡単なことではなく、内面を知ってもらうには時間がかかるのが事実です。その事から、自分を知ってもらうにはまず外見が大事だと思い始めました。

実際、私は自分の容姿に自信がありません。なので、自分の外見に目を向けて、少しでも髪や身だしなみを整えたりいろいろ工夫しています。そうすると少しずつ自分に自信を持てるようになり、前向きな気持ちになれました。周りの友人たちにも、自分らしさを知ってもらうきっかけにもなりました。それが、「外見が作る内面もある」と実感した瞬間でした。

人は、会ってからのほんの数秒の間で相手の印象を決めてしまうそうです。要は、最初に与える印象が大切だと言うことで、これを心理学では「初頭効果」というそうです。例えば、就職活動の一場面です。同じ能力の二人を比べてみます。元気の良い挨拶、清潔感のある身だしなみ、姿勢、きれいな文字で書かれた履歴書。反対に小さな挨拶、シャツはしわだらけ、姿勢は悪く履歴書の字も汚ければ結果は火を見るより明らかであります。採用されなければ、能力を発揮する以前の問題なのです。これは人以外でも言えることで、例えば、新商品のお菓子。味は食べてみなければわかりません。どれだけ消費者に買う意欲を持たせるかはパッケージ等の視覚的要素が一番です。思わず手に取る様な、興味を持たせるものでなければ、その味を味わってもらうことはできないのです。その他にもいろんなところで外見の必要性が最重要視されています。

「人は見た目で判断してはならない」確かにそうだと思います。しかし、「人は見かけで判断される」ということも解らなければなりません。

外見というのは、単に、ブスと美人という話ではなく、その人が醸し出すオーラや、清潔感、見た目に関して、プラスの要素に働くものであります。相手にまず好印象を与えることが、内面を知ってもらう為の第一歩であると考えます。

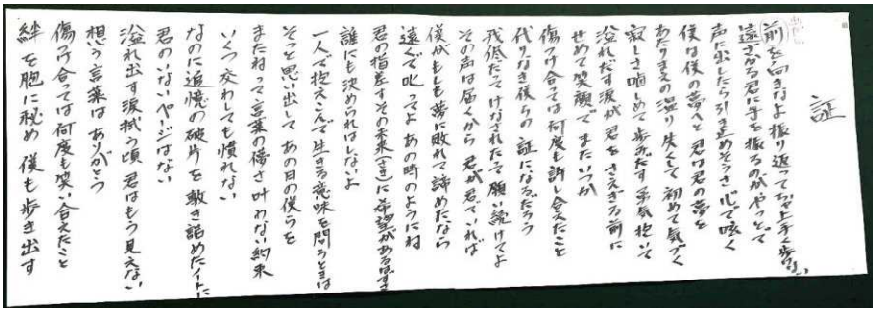
外見に気を遣うと言うことは、その人自身を変えてくれるだけではなく、学校生活でも大切なことです。私のクラスに、シャツは出し、授業中はよく眠っていて、挨拶もできない人がいます。私はその人のことを〇〇から知っているのでその人の良さは十分に解っています。しかし、このままの「見た目」で入試を迎えたら面接でマイナスのイメージを与えることは明らかです。良いところがいっぱいあっても解ってもらう前に入学すらできないかもしれません。私のクラスの子は初めはそうでなかったのですが授業中よく眠るようなり、服装も乱れていったような気がします。心の乱れは服装にも表れるのです。

だから私は外見を磨き、誰かに見た目で却下されてしまわないように、心の内側もちゃんと見てもらえるようにしていきたいです。

第一印象の力

3年 K さん

清流大川

羽地中学校
学校だより 112号
せいりゅうおおかわ
H30.10.24

3年2組合唱練習